

★この注文書でのご注文は返品条件付きで出荷します

●文芸(エッセイ) ご担当者さま

朝日新聞書評(7/22)で大反響 重版決定 8月8日頃出来予定

これからさらに年齢を重ね、記憶が薄れる、失われていくとすれば、どんな感覚だろう。70歳の著者は想像してみる。不幸なことだろうか。しかし、もしもビートルズの曲の記憶が、自分のなかからすべて消えてしまったら。初めてラジオで彼らの新曲、たとえば「ヘイ・ジュード」を耳にしたときの新鮮な感動。それをふたたび自分のものにできるかもしれない。認知機能の衰えをそんなふうに考えることができるとは。読みながら、少し心が軽くなった。

有田哲文氏、朝日新聞 7月 22 日

いまだ人生を語らず

四方田犬彦 著

老いていくことのゆるやかな心構え

エッセイ集『人、中年に到る』刊行から13年、「歳を取ろうとしているわたしは、はたして聡明になったのだろうか、幸福になったのだろうか」。映画、文学、漫画、演劇、料理など各分野を網羅する著述家による、書下ろし作品。



貴店印	注文数	978-4-560-	書名	本体価格
ご担当 様		09356-6	いまだ人生を語らず	2,800 円

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-20)